

ずっと先まで、明るくしたい。



# 九電グループサステナビリティ報告書2019 ダイジェスト

SUSTAINABILITY REPORT 2019 DIGEST



ずっと先まで、明るくしたい。





九電グループは、地域・社会の課題解決に取り組むCSR経営を通じて「持続可能な社会の実現」に貢献し、信頼され選ばれ続ける企業を目指します。

九州電力株式会社 代表取締役 社長執行役員 **池辺 和弘**

九電グループは、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九電グループの思い」のもと、低廉で良質なエネルギーをお客さまへ安定してお届けすることを通じて、お客さまの生活や経済活動を支え、九州とともに成長してきました。

一方、国内外では経済・社会・環境面での社会的課題が多様化・複雑化する中で、その解決に向けた企業への期待も大きくなっています。

こうした中、九電グループがどのような貢献ができるかを示し、地域とともに発展・成長していくという私たちの姿勢を発信するため、「九電グループ経営ビジョン2030」を策定しました。

今後、このビジョンの実現に向け、様々な事業活動に挑戦していきますが、幅広い社会的課題の解決に繋げていくためには、これまで以上にステークホルダーの皆さまからの期待・要請をしっかりと受けとめ、CSR経営を充実させていくことが重要と考えています。

### CSR経営の充実にあたって

近年、国際社会全体の持続可能な開発目標として国連で採択されたSDGsや、企業の環境等への配慮を評価するESG投資など、地球規模で「持続可能な社会の実現」に向けた取り組みへの期待が高まっています。

国内においても、人口減少や少子高齢化の進行に加え、都市部への一極集中により社会的・経済的な地域格差が拡大するなど、様々な課題が深刻化しつつあります。

このような経営環境の変化を踏まえ、SDGsなどから幅広く抽出した社会的課題のうち、ステークホルダーの皆さまからの期待・要請を最優先に考えた「エネルギーサービスを通じた、持続可能な社会の実現」「地域特性を活かした、九州の持続的な発展」「チャレンジし続ける人材・組織づくり」を柱とするCSRの重要課題の解決に向けて、グループ一体となって取り組みを充実させていきます。

### 「持続可能な社会の実現」を目指して

重要課題の中には、これまでのCSRの取り組み領域を越え、新たな挑戦が必要なものもあります。引き続き、環境に優しいエネルギーをお届けしていくことに加え、九州各地を拠点とする地場企業として、地域の皆さまと一緒に汗をかき、知恵を絞りながら、新たな課題の解決に積極的にチャレンジします。

九電グループは、地域の皆さまと一緒に「九州から未来を創る」ことで、「持続可能な社会の実現」に貢献し、信頼され選ばれ続ける企業を目指してまいります。

2019年6月

## 九電グループ経営ビジョン2030

2030年の  
ありたい姿 **九州から未来を創る九電グループ**  
～豊かさや快適さで、お客さまの一番に～

- |            |   |
|------------|---|
| <b>戦略Ⅰ</b> | <b>エネルギーサービス事業の進化</b><br>低炭素で持続可能な社会の実現に挑戦し、より豊かで、より快適な生活をお届けします。               |
| <b>戦略Ⅱ</b> | <b>持続可能なコミュニティの共創</b><br>九州各県の地場企業として、新たな事業・サービスによる市場の創出を通じて、地域・社会とともに発展していきます。 |
| <b>戦略Ⅲ</b> | <b>経営基盤の強化</b><br>経営を支える基盤の強化を図り、九電グループ一体となって挑戦し、成長し続けます。                       |

# 九電グループのCSRの取組み

九電グループは、ステークホルダーからの期待が特に高い課題を「CSR重要課題」として特定し、その解決に向けて積極的に取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指します。

## 持続可能な社会の実現



社会的課題の解決

CSRの取組みの3本柱  
(関連するCSR重要課題)

エネルギーサービスを通じた、持続可能な社会の実現  
(「CO<sub>2</sub>排出量の抑制」など、計5項目)

地域特性を活かした、九州の持続的な発展  
(「地場産業の振興と雇用創出」など、計5項目)

チャレンジし続ける人材・組織づくり  
(「イノベーションの創出」など、計4項目)

九電グループ経営ビジョン2030

グループ理念「九電グループの思い」  
～ずっと先まで、明るくしたい。～

## SDGsへの対応

九電グループは、CSRの取組みを通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

### SDGs(Sustainable Development Goals)

2015年に国連サミットで採択された、国際社会全体の「持続可能な開発目標」であり、2030年を期限とする17の目標で構成されています。



# エネルギーサービスを通じた、持続可能な社会の実現

お客さまの生活や経済活動に欠かすことのできないエネルギーを、これからも安定してお届けしていきます。そして、エネルギー情勢やお客さまニーズの多様化などの環境変化を先取りし、エネルギーサービスを進化させていきます。

〔CSR重要課題〕	〔主な取組み〕	〔関連する主なSDGs〕	
CO <sub>2</sub> 排出量の抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力発電の活用によるCO<sub>2</sub>排出抑制</li> <li>火力発電の高効率化</li> <li>省エネルギーの推進 など</li> </ul>	 	高効率の松浦発電所2号機
再生可能エネルギーの開発・受入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地熱・水力発電等の開発</li> <li>再エネの受入れ拡大に向けた大容量蓄電池や関門連系線の活用 など</li> </ul>	  	 <p>鴨猪水力発電所 (2018年9月営業運転開始)</p>
電力の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常災害への対応</li> <li>供給信頼度の維持</li> <li>燃料調達力の強化 など</li> </ul>	  	 <p>「平成30年台風24号」停電復旧対応</p>
原子力発電所の安全・安定運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力発電所の更なる安全性・信頼性向上</li> <li>原子力訓練</li> <li>住民の皆さまの避難等に対する支援 など</li> </ul>	   	 <p>代替緊急時対策所での原子力訓練</p>
お客さまのニーズ・課題を踏まえたエネルギーサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズに応える料金プラン・サービス</li> <li>グループの多様な商品・サービスによる地域・社会の課題解決 など</li> </ul>	 	 <p>少子高齢化の解決につながる「すくすく赤ちゃんプラン」</p>

# 地域特性を活かした、九州の持続的な発展

これまで「九州の発展なくして、九電グループの発展なし」を合言葉として、九州とともに成長してきました。これからも、九州が抱える課題に対して真摯に向き合い、地域特性も踏まえた解決に挑戦していきます。

〔CSR重要課題〕

〔主な取組み〕

〔関連する主なSDGs〕

## 地場産業の振興と雇用創出

- 一次産業の振興
- 企業誘致
- 伝統工芸支援 など



農業向けITセンサー「MIHARAS」

## 九州地域の交流人口の拡大

- 都市開発事業
- 空港運営事業
- 観光資源としての電力インフラの活用 など



宮崎県でのインフラツーリズム  
(上椎葉ダム点検通路歩行体験)

## 生物多様性の保全

- 地域の皆さまとの協働による環境保全活動
- 周辺環境に配慮した設備形成
- 河川の濁水軽減対策 など



地域の皆さまと環境保全に取り組む  
「こらぼらQでんeco」(海岸清掃活動)

## お年寄りや子どもにもやさしい社会への貢献

- 次世代育成支援活動
- ICT技術を活用したお年寄りや子どもたちの見守りサービス など



九電みらい財団による次世代育成支援活動(いとしま手伝い隊)

## 安全で強靱なまちづくり

- お客さまの安全確保
- 無電柱化の推進
- グループ会社商品を活用した被災地の復旧支援 など



完全自己処理型水洗トイレ  
「トワイレ」

## チャレンジし続ける人材・組織づくり

九電グループの歴史を作ってきた原動力はチャレンジ精神でした。

地域・社会を取りまく環境が大きく変化する中、この変化を機会ととらえて、これからもチャレンジし続けます。

〔CSR重要課題〕

〔主な取組み〕

〔関連する主なSDGs〕

### イノベーションの創出

- KYUDEN i-PROJECT
- プロジェクトから生まれた案件の事業化検討 など



オリジナル音声AIを活用したIoTサービス「QuUn(キューン)」

### 人材育成

- 従業員の能力向上
- 技術力の維持継承 など



九電グループ一体となった人材育成「集合セッション」

### 働きやすい職場づくり

- ワーク・ライフ・バランスの充実
- 働き方改革
- 健康経営 など



働き方改革の推進に向けた「九電働き方改革フェスタ」

### コーポレート・ガバナンスの実効性の確保

- 「内部統制の基本方針」の整備・運用状況の評価
- 監査等委員会設置会社への移行 など



コンプライアンス経営の実施状況をモニタリングする「コンプライアンス委員会」

### 事業活動の基盤となる取組み

- ステークホルダーとのコミュニケーション
- ダイバーシティの推進
- グループ一体となった安全の取組み推進
- 情報セキュリティ・個人情報保護
- コンプライアンスの推進
- 人権の尊重 など

CSR  
重要課題

CO<sub>2</sub>排出量の抑制  
再生可能エネルギーの開発・受入れ



## 再生可能エネルギーの積極的な開発・受入れや、 原子力発電の活用などにより、 低炭素社会の実現に貢献します

### 再生可能エネルギーの積極的な開発・受入れを行っています 〔積極的な開発〕

国産エネルギーの有効活用として、地球温暖化対策面で優れた再生可能エネルギーを積極的に開発・導入しています。

2018年9月には、グループ会社の九電みらいエナジー(株)が、熊本県上益城郡において「<sup>かもしし</sup>鴨猪水力発電所」の営業運転を開始しました。

九電グループの再エネ開発目標: 2030年度までに500万kW (2019年5月末時点: 213万kW)



鴨猪水力発電所  
(年間約960万kWh (一般家庭約3,200世帯相当)の発電電力量)

### 〔最大限の受入〕

太陽光や風力発電など、天候や時間によって発電量が大きく変動する再生可能エネルギーを最大限に受け入れるため、大容量蓄電池の設置や、九州～中国地方を結ぶ送電線「関門連系線」の活用など、さまざまな施策を行っています。

#### (大容量蓄電池による需給バランスの改善)

世界最大級の大容量蓄電池システムを備えた豊前蓄電池変電所では、太陽光発電の出力に応じて蓄電池の充放電を行い、需給バランスの改善を図っています。



豊前蓄電池変電所 (2016年設置、出力5万kW・容量30万kWh)

2018年度の当社  
グループの再エネに  
よるCO<sub>2</sub>排出抑制量

約300万トン<sup>(※1)</sup>

一般家庭の一年分の  
CO<sub>2</sub>排出量  
約70万世帯分

2018年度の当社の  
原子力発電による  
CO<sub>2</sub>排出抑制量

約1400万トン<sup>(※1)</sup>

一般家庭の一年分の  
CO<sub>2</sub>排出量  
約300万世帯分

(※1)  
2017年度の当社CO<sub>2</sub>排出係数  
(調整後)を用いて試算

## 原子力発電の活用によりCO<sub>2</sub>排出量を抑制しています

原子力発電は、再生可能エネルギーと同様に発電時にCO<sub>2</sub>を排出しないことから、地球温暖化対策としても優れた電源です。

2018年度も、原子力発電により火力発電の割合が低下し、CO<sub>2</sub>排出量の抑制につながりました。

## 海外においても地球温暖化防止に 貢献しています

2018年は米国にて新たに2件の高効率のガスタービン・コンバインドサイクル発電事業、2019年5月にはタイの大手発電事業者であるEGCO社<sup>(※2)</sup>の経営へ参画するなど、海外においても、エネルギー事業やコンサルティング事業を通じて、地球環境保全と電力安定供給に積極的に貢献しています。

(※2) エレクトリシティ・ジェネレーティング・パブリック・カンパニー社  
(Electricity Generating Public Company Limited)



米・パーズボローガス火力発電所 (2019年5月営業運転開始)  
(コンバインドサイクル方式。最新鋭の高効率ガスタービン採用)

## お客様のニーズや課題にお応えできる 商品・サービスを提供します

### お客様のニーズにお応えする料金プランを展開しています

#### 【ご家庭向けプラン】

2019年2月、「少子高齢化、人口減少」という地域課題の解決に少しでもお役に立ち、九州を元気にしたいとの思いから、「すくすく赤ちゃんプラン～こどもの日割引～」[「ようこそ九州へ！ IJUターン応援プラン」]を創設しました。



3歳未満のお子さまがいらっしゃるご家庭の5月分の電気料金を10%割引



Iターン、Jターン、Uターンなど、九州に移住されたお客様の電気料金をお申込みから1年間5%割引

#### 【法人お客様向けプラン】

2018年9月、お客様の環境経営への取組みを支援するため、当社が積極的に取り組んできた再生可能エネルギー電源（水力、地熱）の電気を持つ環境価値を活用した、法人お客様向けの料金プラン「再エネECOプラン」を創設しました。

### 九電グループの多様な商品・サービスを通じて、地域・社会の課題解決に貢献します

2019年2月から、自治体や企業を対象に、九電グループのさまざまな商品・サービスを「ウィズキュー」として販売しています。

「ウィズキュー」では、地域・社会の関心が高い「防災対策」「猛暑対策」等の4つのカテゴリについて、関連商品を取り揃え、自然災害の多発化・激甚化や、情報セキュリティ対策の複雑化等による様々なリスクへの対応をサポートします。



#### 防災対策



雨水や海水でスマホを充電  
「Watt Satt  
(ワットサット)」（九電産業株）



夏場ピーク時の屋根からの熱量を約9割カット  
「遮熱シート  
(トップヒートバリアー)」（九電テクノシステムズ株）

#### 猛暑対策

#### 情報セキュリティ



サイバー攻撃からデータを守る  
「QT PROマネージドセキュリティサービス」（株）QNet



最適な「明かり」をご提案  
「照明器具のLED化」（誠新産業株）

#### LED化

● ご紹介した商品は「ウィズキュー」の一部です。詳細は「ウィズキュー」で検索ください。

## お客様の生活や企業の経済活動を支えるため、 エネルギーの安定供給に対して、 しっかりと責任を果たします

台風などの自然災害に伴って大規模な停電が発生したときには、  
総力を挙げて復旧にあたり、早期の送電に努めています

[平成30年台風24号] (最大停電戸数:約31万戸)

九州各県から、協力会社を含めて最大約4,700名を動員し、自治体や自衛隊等の協力も得ながら、昼夜を徹して復旧にあたりました。



配電線路復旧



電柱折損復旧対応



陸上自衛隊による復旧要員の輸送

## 災害対応力の向上に向けて、第十管区海上保安本部と協定を締結しました

2019年3月、災害時に迅速かつ円滑に災害対応を行えるよう、第十管区海上保安本部と、相互協力に関する協定を締結しました。

今回の協定締結により、離島等への復旧要員や資機材の輸送、また、第十管区海上保安本部の施設・活動拠点への電源供給などが可能となり、災害時の双方の活動が迅速かつ円滑に行えるようになりました。



協定締結式の様子



第十管区巡視船「さつま」への資機材積み込みの様子

当社の原子力発電所は、「世界でも最も厳しい水準にある新規規制基準」に適合し、安全対策の有効性が確認されています。

今後も、「福島第一原子力発電所のような事故は決して起こさない」という固い決意のもと、原子力発電所の安全・安定運転に万全を期すとともに、更なる安全性・信頼性向上への取組みを自主的かつ継続的に行っていきます

■重大事故を防ぐため、5つの段階に応じた多様な安全対策を実施

<p><b>1 異常の発生を防ぎます</b></p> <p>地震や津波、竜巻などの大規模な自然災害に対する備えを強化</p>	<p><b>2 異常の拡大を防ぎます</b></p> <p>重大事故の防止に必要な電力を確保するため、多種多様な発電機を新たに配備</p>	<p><b>3 燃料の損傷を防ぎます</b></p> <p>燃料の冷却を確実に実施するため、多種多様なポンプを新たに配備</p>	<p><b>4 格納容器の破損を防ぎます</b></p> <p>格納容器の冷却手段の多様化、水素濃度の低減対策を実施</p>	<p><b>5 放射性物質の放出及び拡散を抑えます</b></p> <p>放射性物質の放出、拡散を抑えるため、放水砲や水中カーテンを配備</p>
--	---	--	--	--

〔玄海原子力発電所の安全対策(概要)〕

※川内原子力発電所においても、同様の安全対策に取り組んでいます。

**① 防火帯**  
樹木を伐採しモルタルを吹付け  
発電所方面→

**② 高圧発電機車**

**② 大容量空冷式発電機**

**③④ ポンプ車**  
可搬型ディーゼル注入ポンプ  
移動式大容量ポンプ車

**① 資機材を守る保管庫を設置**

**⑤ 放水砲**

**① 発電所敷地は、想定される最大の津波より高い位置に**  
敷地高さ 海拔11m  
最大津波高さ 海拔6m  
原子炉建屋

**代替緊急時対策所**  
重大事故時に関係箇所への連絡、事故収束を円滑に対処できる拠点

**④ 水素除去装置**  
静的触媒式水素再結合装置

**⑤ 水中カーテン**

○玄海・川内原子力発電所では、テロ等への対処機能を有する「特定重大事故等対処施設」(\*)の設置を進めています

(\*) 原子炉補助建屋等への故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムにより、原子炉を冷却する機能が喪失し炉心が著しく損傷した場合に備えて、原子炉格納容器の破損を防止するための機能を有する施設

## 地場産業振興や交流人口拡大などの取組みを通じて、九州地域の活性化に取り組めます

### 一次産業をはじめ、地場産業の振興に貢献します

グループ会社のニシム電子工業(株)では、農業向けITセンサー「MIHARAS」(ミハラス)を提供し、農業の生産性向上を支援。

九電産業(株)が運営するインターネット通販サイト「こだわり九州いいものめぐり」では、九州各地の逸品を紹介し、地域物産の振興を後押ししています。

〔「MIHARAS」サービスイメージ〕



センサー端末で収集した気温、湿度、水位等の情報を、お客さま端末(PC、タブレット、スマートフォン)上に見える化



九州各地の逸品を紹介する  
「こだわり九州いいものめぐり」



また、九州全土を結ぶネットワークを活かし、九州域外からの企業誘致にも積極的に取り組んでいます。

九州への進出を検討する企業に対し、電力供給だけでなく、ICTサービスの提供や、用地・オフィス確保のお手伝いなど、当社グループの経営資源を活用したサポートを行っています。

### 地域の交流人口拡大に取り組めます

都市開発事業や空港運営事業への参画など、さまざまな取組みを通じて、交流人口拡大等による地域活性化に取り組んでいます。

#### 〔都市開発事業〕

2018年7月、当社を含むコンソーシアムが福岡市青果市場跡地活用事業の事業者として選定され、2021年度末の施設開業を目指しています。当事業をはじめ、九州各地の大型都市開発事業への参画を通じ、持続的な発展につながるまちづくりに貢献していきます。

#### 〔空港運営事業〕

当社は、他企業との共同での公募選定を経て、福岡空港(2019年4月民間運営開始)及び熊本空港(2020年4月民間運営開始予定)の運営権を取得しました。

当社は、地域に密着した事業者として、電力事業で培った知見を活用し、「安全・安心」な空港運営に貢献していきます。



福岡空港の将来イメージ

## 電力インフラを観光資源として活用

当社は、電力インフラ(ダム・発電所など)を活用したインフラツーリズムを推進しています。

2018年度には、宮崎県などにおいて、(株)JTBなどと連携し、当社ダム・発電所を巡る見学・体験ツアーを開催。通常見学できない設備のご案内や点検の模擬体験をおこない、大変好評をいただきました。今後も、九州各地で同様のツアーを開催する予定です。

また、観光施設等と連携してダムカードを発行するなど、電力インフラを観光資源として有効活用し、交流人口拡大に貢献していきます。



ダムカード



宮崎県上椎葉ダム点検通路歩行体験

「人と自然と、つくるみらい」をスローガンとして、  
**生物多様性の保全**や**環境教育**などに取り組むことで、  
**九州の豊かな自然環境を未来につなげます**



地域の皆さまと  
環境保全に取り組む

「こらぼらQでんeco」



馬島海岸の清掃活動  
(福岡県北九州市)



志賀島の竹林整備活動  
(福岡県福岡市)



九電みらいの森の整備活動  
(長崎県島原市)



鹿児島県指定天然記念物  
「オニバス」の保護活動  
(鹿児島県薩摩川内市)

「こらぼらQでんeco(エコ)」は、地域の皆さまと一緒に  
生物多様性や自然景観の保全などに取り組む活動  
です。

講座や体験を通じて、  
自然を大切にする心を育む  
「Qでん★みらいスクール」



学校等を訪問して行う  
「出前授業」



幼稚園や保育園を訪問して  
行う「エコ・マザー活動」



九州各県の森や公園で、  
楽しみながら森の大切さを学ぶ  
「きゅうでんプレイフォレスト」



自然を感じながら、  
生命の大切さを学ぶ  
「稚魚放流体験」

「Qでん★みらいスクール」は、次世代を中心に環境や  
エネルギーに関するさまざまな「学び」と「体験」の場を  
提供する活動です。

「九電みらい財団」による環境活動

当社が設立した「九電みらい財団」は、大分県のくじゅうエリアを中心に、  
専門性を活かした環境活動を行っています。

〔環境保全〕



くじゅう坊ガツル湿原で行う野焼き活動  
(大分県竹田市)



平治岳で行うミヤマキリシマ植生保護活動  
(大分県竹田市)



▲ホームページ



▲Facebook



▲Instagram

〔環境教育〕



社有林「くじゅう九電の森」で行う環境教育  
(大分県由布市)

## お年寄りや子どもたちなど、地域の皆さまが安心して暮らせるやさしい社会づくりに貢献します

### 地域団体が取り組む次世代育成支援活動を助成しています

「九電みらい財団」では、九州の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するため、NPOなどの団体が取り組む次世代育成支援活動への助成事業を行っています。

2018年度は、22件の活動に対し、総額約1,400万円の助成を行いました。

#### 助成団体のご紹介(いとしま手伝い隊)

「いとしま手伝い隊」は、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目的に、福岡県糸島市で「いとしまこども食堂～ほっこり～」を毎月運営しています。

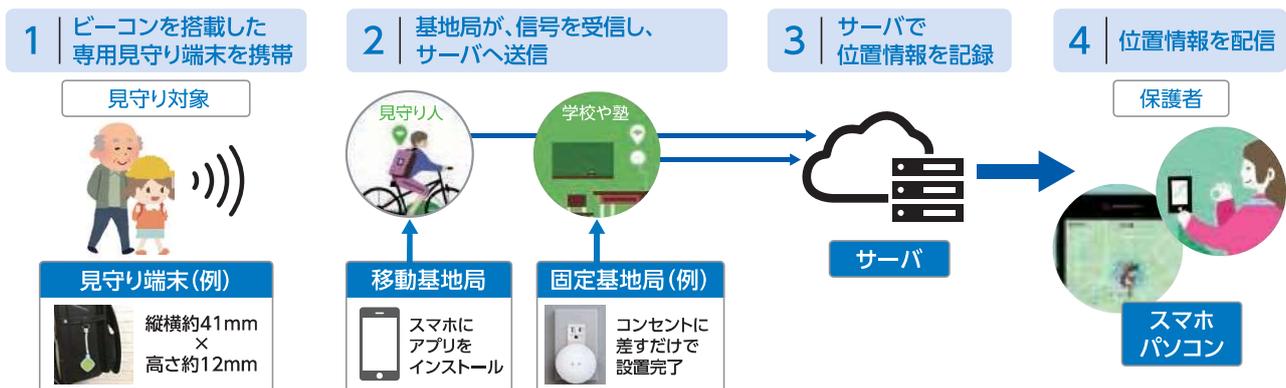
子どもから高齢者までが一緒に食事をするだけでなく、勉強や合唱も行うなど、地域ぐるみで多世代交流や学習支援を実施。心もお腹もやささでいっぱいにするこの活動は、地域の方々に愛され、地域に根付いた活動になっています。



料理を通じた多世代交流

### IoT技術を活用したお年寄りや子どもの見守りサービスを提供しています

九電グループのイノベーションプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」から生まれた新しい見守りサービス「Qottaby(キューオッタバイ)」を、福岡市内の小学校を中心に提供しています。このサービスは、ビーコン(電波発信機)を搭載した専用見守り端末を携帯する小学生や高齢者などの位置情報を、保護者の方などがスマートフォンやパソコンで確認することが出来るものです。



### 離島医療を支援しています

グループ会社の西日本空輸(株)では、自社のヘリコプター事業で培った強みを活かし、大小多くの離島を抱える長崎県で、長崎離島医師搬送システム(NIMAS)事業に参画。移動手段に制約の多い離島医療に従事する医師に対して移動手段を提供することで、離島医療を支援しています。

また、同社は、九州内5県でドクターヘリ事業にも参画。消防機関等からの出動要請に基づき、重篤患者が発生した現場に医師を迅速に送り込み、救命医療を支援しています。



救命医療専用のヘリコプター「ドクターヘリ」

## 当社グループの技術力を活かして、 安全で、災害にも強いまちづくりに取り組みます

感電事故を発生させないため、  
電力設備への接触防止対策等の安全対策を徹底しています



昇塔防止装置



注意喚起標識

- 鉄塔への昇塔防止や発電所・変電所への侵入防止  
(昇塔防止装置や外柵、注意喚起標識を設置)
- クレーン車等の重機や釣竿などの送電線への接触防止  
(河川横断部などに注意喚起標識を設置)

## 無電柱化の推進により、 災害に強い街づくりに貢献します

2018年12月、近年の災害の激甚化を受けて「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が閣議決定され、緊急輸送道路約1,000kmにおいて無電柱化を進める方針が提示されました。

当社は、九州における整備目標107kmの達成に向け、取組みを進めています。



[無電柱化前]



[無電柱化後]

## 完全自己処理型水洗トイレで、 被災地の復旧支援に貢献しています

グループ会社のニシム電子工業(株)は、完全自己処理型水洗トイレ「トワイレ」を提供しています。

水道や電気などのライフラインを必要とせず、汲み取りも不要という特性を活かし、「平成29年九州北部豪雨」や「平成30年7月豪雨(西日本豪雨)」の際には、被災地の復旧支援として貸し出しを行い、多くの方にご利用いただきました。



「平成30年7月豪雨」の際に被災地に設置した「トワイレ」

## 防災機能を備えたLED街路灯「道しるべ灯」を寄贈しました

2019年2月、当社日向配電事業所は、宮崎県日向市と同県門川町に、昼間に光エネルギーを蓄えて夜間に発光する蓄光塗料を塗布したLED街路灯「道しるべ灯」を寄贈しました。

これは、同事業所とグループ会社の誠新産業(株)が共同開発したもので、停電などで周囲が暗闇に包まれた状態でも、およそ10時間ほのかに光を放つことができ、災害発生時の避難経路や避難場所の目印としての活用が期待されます。



贈呈式



夜間発光の様子

## 九電グループ全体で 地域・社会の課題解決につながるイノベーションを推進し、 快適な社会づくりを目指します

### イノベーションの取り組み「KYUDEN i-PROJECT」

九電グループ全体のイノベーションを推進し、新たな事業やサービスを生み出すためのプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」を展開しています。

九電グループが一体となって取り組む「グループ横断イノベーション」や、他企業・ベンチャーキャピタル等と連携した「オープンイノベーション」に取り組んでおり、多数の案件について、実証実験を重ねながら、事業化の検討を行っています。



### 【プロジェクトから生まれた案件】

#### 【事業化案件（準備中含む）】



オリジナル音声AIを活用したIoTサービス「QuUn(キューン)」



ベトナムに設立した現地法人「Kyuden Innovatech Vietnam」による、水力発電収益改善事業



位置情報を活用した見守りサービス「Qottaby(キューオッタバイ)」



ドローンを活用した動画空撮、映像編集、三次元画像等作成サービス



外国人クラウドワーカーの活用と九州への定住促進サービス

#### 【実証実験中の案件】



スマートフォン制御型宅配ボックスによる再配達問題の解決



センサーを活用したアクティビティ自立支援・健康寿命延伸サポートサービス

この他にも、多数の案件について実証実験に取り組んでいます。

### 「創造的基地『QBS-Lab』」の開設

2018年12月、グループ会社の九電ビジネスソリューションズ(株)(QBS)では、研究開発や社員交流の拠点として「QBS-Lab(キュービーエスラボ)」を開設。「創造的基地」をコンセプトに、プレゼンテーションに適したサークル型スペースや、集中作業に最適なソロブースなどを設けています。

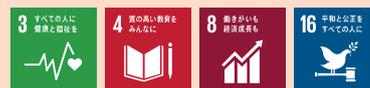
部署やプロジェクトの枠を越えたコミュニケーションを促進することで、クリエイティブな発想やイノベーションを引き起こし、これまでのスタイルの中では成しえなかった新しい価値を社会に提供していきます。



「QBS-Lab」の内観



働きやすい職場づくり  
人材育成  
コーポレート・ガバナンスの実効性の確保



## 挑戦し、成長し続けるための人材・組織づくりに取り組みます

### 働きやすい職場づくりに取り組んでいます

#### 【働き方改革の推進】

従業員が活力を持って仕事に取り組める環境づくりや、抜本的な業務効率化による労働生産性の向上、チャレンジできる組織風土への変革を目的として、働き方改革に取り組んでいます。

#### （九電働き方改革フェスタ）

2018年5月、自発的な改革意識・風土の醸成や、人材育成などに繋げることを目的に、「九電働き方改革フェスタ」を開催。

経営層によるパネルディスカッションや、各職場の好事例の発表などを行いました。



4色の紙で働き方改革への意見を表明する参加者

#### 【健康経営の推進】

あらゆる事業運営の基盤である従業員の健康保持・増進を目的に健康経営を推進しています。

2019年2月には、従業員の健康づくりのサポート等に取り組んでいることなどが評価され、昨年に続き2年連続で「健康経営優良法人(ホワイト500)」の認定を受けました。



※健康経営優良法人認定制度  
経済産業省と日本健康会議が共同で、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度

### グループ一体となった人材育成に取り組んでいます

2019年5月、九電グループ全体の視点やつながりを知り、一体感を醸成するとともに、リーダーシップやコミュニケーション力の基礎を学ぶことを目的に、九電グループの新入社員が一堂に会する「集合セッション」を実施しました。

30社の新入社員561名が、会社混成のチームに分かれ、「理想の九電グループ」についてディスカッション。参加者からは、「これからの九電グループをつくっていくという自覚や責任感を再認識できた」といった声が聞かれました。

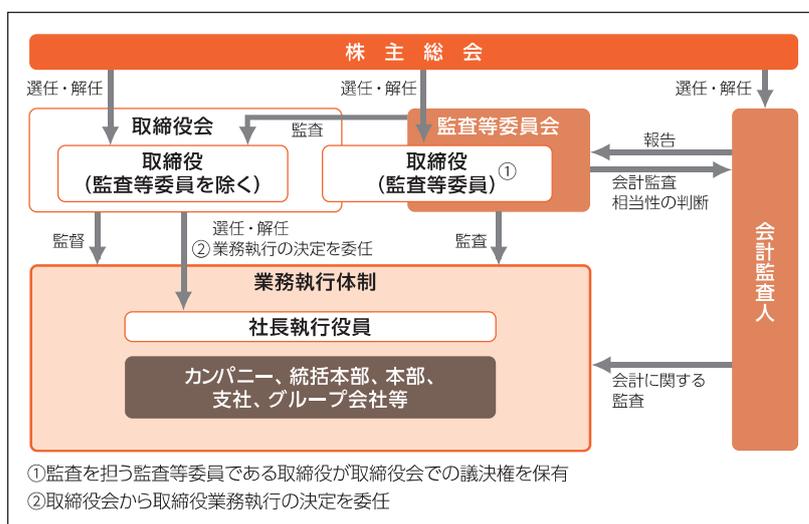


昨年に続き2回目の開催となる「集合セッション」

### 事業活動の基盤となるコーポレート・ガバナンスの体制を構築・強化しています

事業活動を適切に遂行していくため、コーポレート・ガバナンス体制の構築・強化に取り組んでいます。

2018年6月には、今後の環境変化に対して、より一層柔軟かつ機動的に対応していくために、監査等委員会設置会社へ移行。ガバナンス強化(右図①)と意思決定の迅速化(右図②)の両立を図っています。



コーポレート・ガバナンスの体系図

## グループの経営資源を活用し、 さまざまな事業領域で、地域・社会の課題解決に取り組めます

### 持続可能な社会の実現

#### 地域・社会の課題解決

#### 国内電気事業

- 九州電力(株) ●九州電力送配電(株)
- 九電みらいエナジー(株)

#### エネルギー関連事業・海外事業

- 九州林産(株) ●(株)九電ハイテック
- 西日本プラント工業(株) ●西技工業(株) ●九電産業(株)
- 西日本技術開発(株) ●(株)プラズワイヤー
- 西技測量設計(株) ●(株)九電工 ●西九州共同港湾(株)
- (株)九建 ●九電テクノシステムズ(株) ●西日本空輸(株)
- 九州高圧コンクリート工業(株) ●光洋電器工業(株)
- (株)キューヘン ●誠新産業(株) ●西日本電気鉄工(株)
- (株)キューデン・インターナショナル
- 大分エル・エヌ・ジー(株) ●北九州エル・エヌ・ジー(株)
- 串間ウインドヒル(株) ●西日本環境エネルギー(株)
- 長島ウインドヒル(株) ●(株)福岡エネルギーサービス
- みやざきバイオマスリサイクル(株) ●戸畑共同火力(株)
- (株)福岡グリーンエナジー ●大分共同火力(株)
- 九州冷熱(株)

#### ICTサービス事業

- (株)QTnet
- (株)キューデンインフォコム
- ニシム電子工業(株)
- 九電ビジネスソリューションズ(株)
- (株)コアラ

#### 都市開発・まちづくり、 インフラサービスなどの事業

- (株)キューデン・グッドライフ
- (株)九電ビジネスフロント
- (株)電気ビル
- 九電不動産(株)
- (株)九電ビジネスパートナー
- 九州メンテナンス(株)
- 九州高原開発(株)
- (株)九州字幕放送共同制作センター
- (株)ジェイ・リライツ
- 記録情報マネジメント(株)
- (株)オークパートナーズ
- 九州住宅保証(株)
- 伊都ゴルフ土地(株)

(※)主なグループ会社を記載



具体的にはどのように、地域・社会課題の解決に取り組んでいるの？

詳しくはウラ面へ

# 九電グループの事業や商品・サービスによる地域・社会の課題解決事例

## ■エネルギー関連事業・海外事業

### ◎九州林産(株)

—社有林の適切な管理—

九州電力(株)が保有する社有林の適切な管理<sup>(※)</sup>により、森林が持つCO<sub>2</sub>吸収や生物多様性保全などの機能や効果の維持・向上に貢献

(※)適切な森林管理が行われていることを認証するFSC<sup>®</sup>認証を取得(FSC-C018956)



### ◎西日本技術開発(株)

—海外での地熱発電開発支援—

国内で培った経験と最新技術を活かして、海外での地熱発電開発の支援に積極的に参画<sup>(※)</sup>

(※)インドネシア、コスタリカ、ニカラグア、ケニア、エチオピア等で支援を実施



ワルブル地熱発電所(インドネシア)

### ◎九電テクノシステムズ(株)

—太陽光発電で電源を確保—

太陽光発電で発電した電気を大容量(15kW)蓄電できる「青空コンセント」を提供。電源・基礎工事が不要で簡単に設置・移動でき、災害時の電源確保での活用が期待



### ◎(株)キューヘン

—環境にやさしい省エネ給湯機の提供—

空気の熱と、割安な深夜電力を利用してお湯を沸かす、環境や家計に配慮した省エネ給湯機「エコキュート」の提供を通じて、省エネライフの実現に貢献



### ◎ひびきウインドエナジー(株)

—響灘地区を世界に誇る「風力発電の街」に—

九電みらいエナジー(株)他4社が設立。北九州市の「響灘洋上風力発電施設」の設置・運営事業者公募において、優先交渉者に選定され、2017年より風況・海域調査等を実施中

2021年に事業計画の具体化を図る予定



### ◎みやざきバイオマスリサイクル(株)

—地元畜産業と連携した発電事業—

宮崎県川南町で、養鶏農家の方々との共同による、鶏ふんを利用したバイオマス発電事業を実施し、家畜排せつ物による地域環境問題の解決を図るとともに、CO<sub>2</sub>排出抑制にも貢献



## ■ICTサービス事業

### ◎(株)キューデンインフォコム

—お客様の情報システムを守る  
データセンターサービス—

「災害に強い信頼の都市型データセンター」として、地震や停電に強く、厳重なセキュリティにより、お客様のシステムやデータを守るデータセンターサービスを提供



### ◎九電ビジネスソリューションズ(株)

—ICTソリューションの提供—

九州電力(株)の基幹系システムの開発から運用、保守・サポート等で培った技術力を活用し、航空運輸業・製造業等の企業に対しても、ICTを活用したトータルソリューションを提供



## ■都市開発・まちづくり、インフラサービスなどの事業

### ◎九電不動産(株)

—「みらいにつながる、快適で環境にやさしい、安心な空間」を提供—

お客様のライフスタイルに合わせたオール電化住宅の提供を通じ、人と環境とが調和した住まいづくり、街づくりに貢献



### ◎記録情報マネジメント(株)

—記録情報の  
総合マネジメントサービス—

企業が緊急事態に遭遇した際のBCP(事業継続性)対策や情報セキュリティ対策として、企業の記録情報を消滅・流出などから守る、記録情報管理のワンストップサービスを提供



### ◎(株)キューデン・グッドライフ

—有料老人ホーム事業—

本格的な高齢社会を迎える中、高齢者の方々に充実したシニアライフを送っていただくため「有料老人ホーム事業」を展開し、充実した生活支援や医療支援体制など、安心で快適な生活の場を提供



### ◎(株)九州字幕放送共同制作センター

—障がいをお持ちの方々への就労機会の提供—

障がい者の新たな職域を創出するため障害者雇用促進法に基づく特例子会社として設立。2019年4月、これまでのテレビ番組の字幕制作サービスに加え、印刷を主とするドキュメントセンターを開業し、就労機会の拡大に貢献





## サステナビリティ報告書



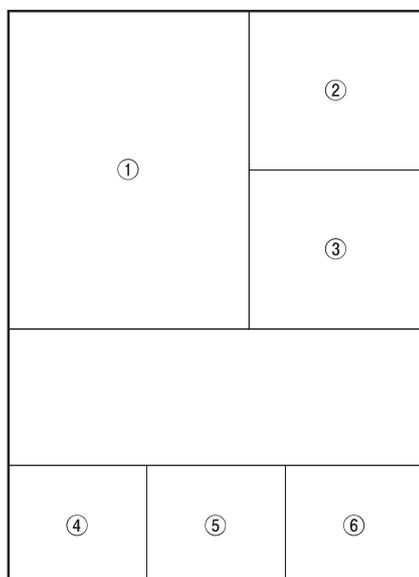
- CSRの取組み全般を詳細にご紹介しています  
(2019年6月末頃、当社ホームページに掲載予定)

九州電力CSR

検索



## 表紙について



- ①佐賀平野の鉄塔  
(当社公式Instagramに掲載)
- ②九州と本州を結ぶ「関門連系線」の昇塔訓練  
(当社送電部門の新入社員研修)
- ③近隣幼稚園の子どもたちとのジャガイモ掘り体験  
(苅田発電所構内の環境施設農園)
- ④初夏の扇ヶ鼻〔大分県竹田市〕  
(九電みらい財団第1回Instagramフォトコンテスト金賞受賞作品)
- ⑤当社各営業所で行っているIH体験講座
- ⑥紅葉の上椎葉ダム〔宮崎県東臼杵郡〕  
(当社公式Instagramに掲載)

- 九州電力公式Instagramでは、「九州の夜景・灯りのある風景」「電気が生まれる・繋がる風景」「九州の自然・風景・祭り」をテーマとした写真をお届けしています。

九州電力  
公式Instagram  
ページはこちら



- 九電みらい財団公式Instagramでは、活動時に撮影した写真や、フォトコンテストの応募作品などをご紹介します。

九電みらい財団  
公式Instagram  
ページはこちら



### 配布事業所



■CSRの取組みに関するご意見・お問い合わせ先  
九州電力株式会社 ビジネスソリューション統括本部  
地域共生本部 総務計画・CSRグループ  
〒810-8720 福岡市中央区渡辺通2-1-82  
TEL:092-726-1596 FAX:092-711-0357  
E-mail:csr@kyuden.co.jp